

『サマーウォーズ』 再見

上原 昇 (2 組)

7月28日から8月10日まで2週間限定でアニメ映画の傑作『サマーウォーズ』が全国各地でリバイバル上映されています。(残念ながら上田での上映はないようです)

<https://www.famitsu.com/news/202306/09305525.html>

監督の細田守さん(1967年生)は今では世界的に有名になりましたが、2009年、同作が公開された頃は、まだ新進気鋭のアニメ演出家でした。

細田監督初の長編アニメ映画作品『時をかける少女』(2006年公開)も若者たちの熱い支持を受けましたが、何と云っても『サマーウォーズ』の評価が名匠への登竜門になりました。同期諸氏の多くも同作を観ておられると思いますが、上田を舞台にした物語は信州人には懐かしく忘れ難い一作です。

同作での思い出は、2010年4月10日に上田高校関東同窓会主催で『サマーウォーズ』上映会を開催したことです。千代田区の一ツ橋ホールでのイベントには細田監督も招き、300人を超える同窓会関係者が参集して、おおいに盛り上がりました。

上映後、細田監督とのトークショウがあり、筆者が司会を務めました(下の写真)。

その時の話で面白かったのは、細田さんは富山県の出身ですが、奥様がなんと上田市出身で上田染谷丘高校卒とのこと。作品中で上田高校が野球で甲子園に三度目の出場をします。彼が言うには「実は、染谷丘高校を考えていたが、さすがに無理だろうと諦めて上田高校にした」とのこと。会場から笑いと拍手が起きました。

『サマーウォーズ』以降の細田監督は『おおかみこどもの雨と雪』(2012年)、『バケモノの子』(15年)、『未来のミライ』(18年、アカデミー長編アニメ映画賞にノミネート)、『竜とそばかすの姫』(21年)と着実にヒット作を世に送り出しています。

映画好きでよく映画館に通っている筆者ですが、アニメは苦手であり観ることはありません。ただ、前述のような経緯もあり、細田アニメだけは気になって必ず観ています。

今年の夏も『サマーウォーズ』と再び出会うことが出来ました。

映画館は若い男女でほぼ埋まり、14年経っても根強い人気のほどを感じました。



2010年4月、上映会でのトークショウ、右が細田監督、左が筆者



『サマーウォーズ』ポスター



映画では上田高校が延長で松商に勝って甲子園に

(2023年8月3日記)

以上